

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	男児直腸肛門奇形症例術後成績の検討			
2. 対象患者	当科で直腸肛門奇形の根治術を行なわれた男性患者さん			
3. 対象となる期間	1997年4月1日		～	2018年12月31日
4. 実施診療科等	小児外科			
5. 研究責任者	氏名	平林 健	所属	小児外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	医療の進歩により、男児直腸肛門奇形の手術から数ヶ月前後の術後成績は向上していますが、数年後の排便機能を含めた生活自体の質に関する詳細な検討は少ないことは否めません。術後数年間にわたる排便機能を、長期的に検討することが必要と考えます。今回は、男児直腸肛門奇形症例の術後排便機能を直近例と長期例に対して比較検討を加え、診療の一助にしたいと考えます。			
8. 研究の目的	1997年4月から2018年12月までの当科で直腸肛門奇形根治術を施行した症例の、既往、手術時年齢、手術術式、術後の排便機能を比較検討し、その阻害因子を検討します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録を利用し、手術時年齢・手術術式・既往・術後の排便機能を、直近のものおよび長期間経過しているものとの比較し、術後の排便機能を妨げる要因を明らかにします。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。対象者又は保護者の方より拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外しデータを削除いたします。ただし、すでに研究結果公表済みの場合は公表済みのデータを修正することはできませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院小児外科 平林 健			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080